

投稿文

PhotoJournalist 安田菜津紀さんから学んだこと

安田菜津紀さんというフォトジャーナリストを知っていますか。私は今までその方を知らなかったのですがその方の講演を聴きに行く機会がありました。高校二年生の時に『国境なき子供達』国際協団体のもとリポーターとしてカンボジアへ行かれました。また、東日本大震災でも写真を通じて私たちに向こうの状況はもちろん、被災者の思いなども伝えてくれています。時々TVにも出演されています。私が彼女の講演を受け、一番心に残っているのは東日本大震災で有名になった『奇跡の一本松』のお話です。岩手県陸前高田市に7000本の松が植えられていたのですが、津波でなぎ倒され一本だけ生き残った松。この話は多くの人に感動と希望を与えました。写真やニュースを見た私も感動した一人です。安田さんもその1人で1本松を写真におさめ全国に発信しました。その写真を被災者で彼女の義父に見せると、義父は悲しまれたそうです。被災者でない人たちからしたら7000本あった松が一本だけでも残ってすごいと思うかもしれないけどその松と一緒に暮らしていた被災者からしたらその残り6.999本の松が消えてしまった風景は、津波を思い出してしまい苦しいと言われたそうです。

私は立場の違いでこんなにも思いが変わってくるのかと、はっと考えさせられました。また、私は本当に被災地の方々に向き合っているか不安になりました。ジャーナリストという仕事は、目の前に死が近づいている子がいても助けることはできません。それを写真におさめて伝えることしかできないのです。

また、安田さんは人とのつながりが大切なのだとおっしゃいました。実際に困っている地域に行ってきたくさんの人と触れ合いその一瞬を写真に切りとり伝える大切さも話されました。私は被災地に行きたい気持ちが高まりました。実際に被災地を見て、被災者の方に会い、被災地の方々に寄り添える本当に必要なボランティアをし続けていきたいと、お話を聞きながら思いました。(高校1年K・I)

今年も京フェスで被災地応援活動できました！



たくさんの来場者にチラシを渡し、物品販売を呼びかけながら、「被災地を忘れないください」と力強い呼びかけをしました。

保護者の皆様にご協力をお願い

石巻から取り寄せた金鱈の美味しいおかずや、いわしの佃煮
諏訪の共同作業所で作っている黒にんにく・干し柿のお買い上げ
にご協力お願いします。

干し柿 6個 200円・黒にんにく 1個 300円・鱈・いわし 各 500円



東日本被災地フィールドワーク 参加者募集

応募者対象：中学1年生から高校3年生。
委員会に所属していない人も大歓迎です。

東日本大震災被災地応援実行委員の高校1年生有志は、来年の春、東日本の現状を知るために実際に現地を訪れる計画をしています。私たちと一緒に被災地フィールドワークに参加希望者を募集します！！

**興味のある人は、
総合学習担当の先生に声をかけてください。**

【私たちが東日本の被災地へ行こうと思ったきっかけ】

ボランティアは現地の復興に伴って変化するべきだと思っています。私たちの東日本被災地応援実行委員会の活動が、今の現状にあっているのか、今後はどう支援するのがよいかを考えたいと思いました。

また、ニュースや新聞で東日本大震災について目にする機会が少なくなったため、東日本の復興の現状についてよく分かりません。そして、東日本大震災を覚えている人が、委員会の中にも少なくなってきました。そこで、実際に現地を訪れ自分の目で見て感じることで東北の今を知り、「なぜ東日本大震災被災地応援実行委員会をつくったのか」を再確認し「自分たちに何ができるのか」を見つけるために被災地へ行こうと思います。

そして、委員会に入っていない人にも、被災地に関心を持ってもらえるような活動をしたかったからです。

【現地での活動内容】今後変更あり(参加者の希望や、先生方と相談し計画します。)

- 被災地の中学生・高校生との交流
- 東日本で実際に私たちが応援している方々との交流
- 現地の復興状況を視察
- 被害が大きかった沿岸の三陸鉄道に乗車する



...etc



(^o^)

日程：3月27日(水)～3月30日(土)

費用：約5万円(交通費・宿泊・食事代・保険代)

訪問先：石巻市・気仙沼市・陸前高田市・女川町

(^o^)

何か挑戦したい人！行動をおこすきっかけにしてください！☺♥